

船舶事故等調査報告書

平成22年4月22日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010神第4号	
事故等種類	衝突（観測システム塔）	
発生日時	平成21年12月16日 12時55分ごろ	
発生場所	大阪湾 関西国際空港南端	
事故等調査の経過	平成22年1月13日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 油タンカー さんこう68、103トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 134837、三栄タンカー株式会社</p> <p>乗組員等に関する情報 船長、六級海技士（航海）</p> <p>死傷者等 なし</p> <p>損傷 船体：左舷船首外板及び船橋左舷側外板に凹損 観測システム塔：塔体及び係留索に軽度の損傷</p>	
事故等の経過	本船は、船長ほか2人が乗り組み、C重油200klを積載し、関西国際空港南端付近を南進中、平成21年12月16日12時55分ごろ、関西国際空港南端に設置された観測システム塔に衝突した。	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 北西、風速 約8m/s、視界 良好</p> <p>海象：うねり なし、波高 なし、潮流 南東約0.3ノット、潮汐 低潮時</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、関西国際空港南端付近を南進中、書類を見ることに意識を集中し、見張りを行わなかったものと考えられる。</p>
原因	本事故は、本船が関西国際空港南端付近を南進中、書類を見ることに意識を集中して見張りを行わなかったため、観測システム塔に衝突したことにより発生したものと考えられる。	